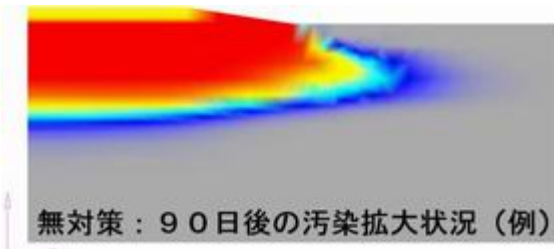
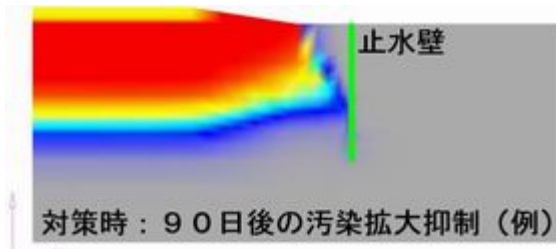


[様式 2]

提案書	
技術分野	⑥地下水等の挙動把握
提案件名	物質移行解析技術
提案者	清水建設株式会社
<p>1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）</p> <p>既に3次元地下水流動解析手法を用いた敷地内の地下水流動解析が実施されているが、汚染水の起源、漏出量等を入力データとした非定常の物質移行解析を実施することにより、今後の汚染水の挙動を予測するとともに、対策検討に対する時間的、空間的データを提供することができる。</p> <p>解析コードについては、広く普及している D-transu2D-EL（2次元 FEM）、D-transu3D-EL（3次元 FEM）やその他のコードが想定される。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>無対策：90日後の汚染拡大状況（例）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>対策時：90日後の汚染拡大抑制（例）</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">図 Dtransu-2D・EL による地下水汚染挙動解析断面例※</p> <p style="text-align: center;">※http://www.diaconsult.co.jp/ei_hinmoku/ei_kaiseki/k_iryu.html より引用</p>	
<p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む） D-transu3D-EL に関しては、多くの解析事例がある。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 3次元の非定常、物質移行解析については、解析規模が大きくなると計算時間が掛かることが問題となる。 水理特性（透水係数や貯留係数）のみでなく、物質移行パラメータ（拡散係数、分散長、吸着係数など）を想定あるいは実測する必要がある。 ・その他（特許等を保有している場合の参照情報等） 	